

## 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）実現のために [仕事と育児・介護の両立支援]

### 多様な社員が活躍できる企業を目指し 休暇や在宅勤務などの制度を拡充

#### CASE 8

#### 日産自動車株式会社



日産自動車株式会社  
人事部 報酬・労務グループ  
主担

#### 吉岡 俊幸氏

——2008年に「ファミリーサポート休暇」を新設されたそうですが、その背景についてお聞かせください。

**吉岡** ● 当社では、国籍や性別、年齢の異なる社員が能力を最大限に発揮できるよう、多様性を尊重するダイバーシティの実践を経営戦略に組み入れています。仕事と育児・介護の両立支援もそうしたダイバーシティ尊重の考え方の下、取り組んできました。現在、当社は多様な働き方をサポートする諸制度を準備し、幅広い選

択肢を提供しています。ファミリーサポート休暇は、戦略実現に向けた施策の1つです。

——制度の特徴を教えてください。

**吉岡** ● 社員が各自の事情に合わせて柔軟に休暇を取れるようにするため、結婚、配偶者出産、育児、介護と目的別に設けていた休暇制度に、従来より要望の強かった不妊治療も加え、ファミリーサポート休暇として統合しました。年間で取得できる休暇は12日間で、うち5日間は有給休暇にしています。その結果、08年度の取得率は、前年度より約2割増加しました。

——在宅勤務制度もあるそうですね。

**吉岡** ● 育児・介護をされる従業員からの要望を基に設けた制度で、06年から導入しました。現在、約40～50名が利用しています。

——様々な制度の新設、導入に当たって、どのような工夫をされていますか。

**吉岡** ● ダイバーシティを推進する部署や労働組合と連携して、社員のニーズを吸い上げています。また、ワーク・ライフ・バランス(WLB)へ



日産自動車株式会社  
代表取締役社長


カルロス・ゴーン氏

日産自動車を目指すWLBとは

OFFを充実して  
ONも充実しよう!

の理解や諸制度の認知を向上するため、各制度のチラシやパンフレットを全社員に配布して継続的にPRしているほか、社内イントラネット上に社員が意見交換できるコミュニティサイトを開設しています。

——今後の課題はありますか？

**吉岡** ● 育児・介護目的や職種による仕事内容の違いにかかわらず、皆がWLBを実現できるよう対策を考えていく必要があります。今後も現状に甘んじることなく、社員が個性を発揮し、活躍できる企業を目指していきます。 

### WLB支援に取り組む 10社の事例を連載中!

※( )内は掲載(予定)号

#### [休暇の取得促進]

株式会社電通 (10/5号)

鹿島建設株式会社 (10/12号)

#### [メリハリのある働き方の実現]

株式会社日立製作所 (10/19号)

株式会社大和証券グループ本社 (10/26号)

全日本空輸株式会社 (11/2号)

キヤノン株式会社 (11/9号)

#### [仕事と育児・介護の両立支援]

三井化学株式会社 (11/16号)

日産自動車株式会社 (今回掲載)

株式会社高島屋 (11/30号)

住友商事株式会社 (12/7号)

今回の  
ポイント

柔軟性のある、取得しやすい仕組みに変更  
同時に様々な制度の認知向上を促進

いい仕事しよう。いい人生しよう。

12月7日(月) 東京  
丸の内 MY PLAZAホール

仕事と生活の調和 講演会開催  
(ワーク・ライフ・バランス)

司会  
久保 純子

12月9日(水) 大阪  
大阪府立男女共同参画・青少年センター

詳しくは、HPまたは「仕事と生活の調和講演会」事務局まで お申し込み: <http://www.face2.jp/wlb/>  
TEL: 03-3545-2372(10:00~18:00 土・日・祝日を除く)

講演会のお申し込み先のウェブサイトにつきましては、株式会社フェイス・ツー・コミュニケーションが運営しております。  
当サイトは、12月9日まで有効となっております。

仕事と生活の調和推進プロジェクト

検索



ひと、くらし、みらいのために

厚生労働省

<http://www.mhlw.go.jp/>